食物アレルギー問診票入力　エクセルソフト

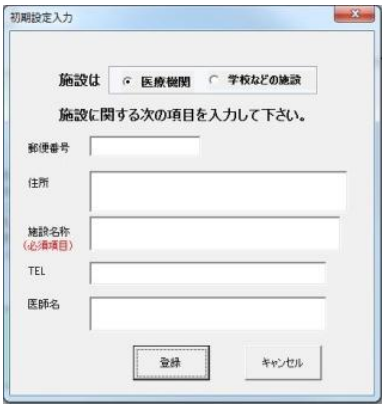
取扱説明書

エクセルの準備

ソフトを起動する前に、エクセルの「マクロの設定」を無効から有効に変更します。メニューバーの「開発」-「マクロのセキュリティ」を選択し、「すべてのマクロを有効にする」にチェックを入れてください。

A. 初期設定

ソフトを起動すると初期設定ボックスが出ますので、先ず医療機関か学校などの施設かをチェックします。
施設名称を入力すれば、初期画面の「施設名」がセットされます。
医療機関の場合、入力後、管理指導表の「医療機関名・住所・電話・医師名　㊞」がセットされます。



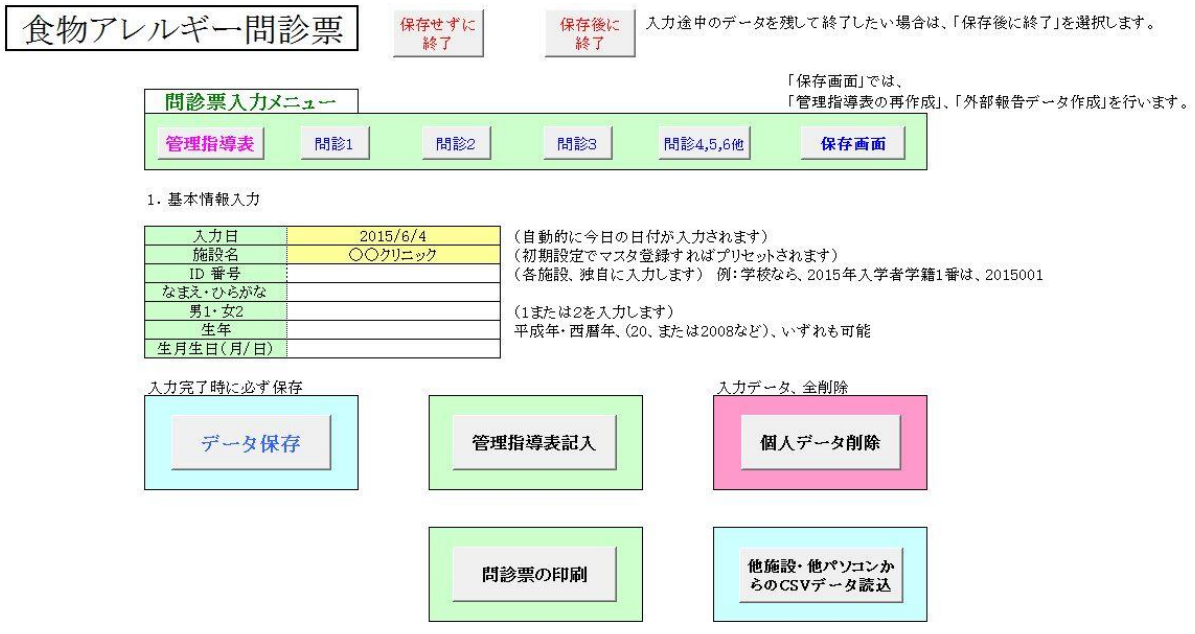
1．基本情報入力

入力日	2015/6/4
施設名	○○クリニック
ID 番号	
なまえ・ひらがな	
男1・女2	
生年	
生月生日(月/日)	

記載日　　年　　月　　日
医療機関名・住所・電話・医師名 ㊞
〒632-0000
○○市△△町000-0
○○クリニック
TEL & FAX : 0000-00-0000
院長 ○○○○　　㊞

B. 基本情報入力

ID 番号、なまえ・ひらがな、男１・女２、生年、生月生日（月/日）を入力します。
入力後、問診票入力メニューから「問診１」を選んでクリックします。



C. 問診１入力

問診１の症状を選んでクリックします。

入力後、問診票入力メニューから「問診２」を選んでクリックします。

D. 問診２入力

問診２の症状が出た食物名を選んでクリックします。リストになければ、その他に書き込みます。

入力後、問診票入力メニューから「問診３」を選んでクリックします。

E. 問診３入力

1）問診３-1 をクリックして選んだ場合、原因食物名を右欄に入力します。

2）問診３-2 をクリックして選んだ場合、同様に、原因食物名を右欄に入力します。

3）問診３-3 をクリックして選んだ場合、右欄への入力は不要です。

4）問診３-4 をクリックして選んだ場合、同様に、右欄への入力は不要です。

問診３-4-④、その他では（　）内に原因となったものを入力します。

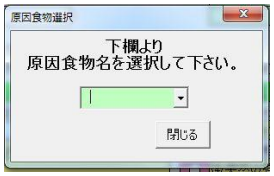
5）問診３-◇入力

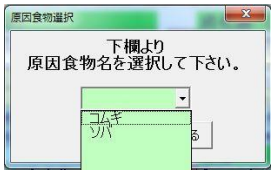
問診３の症状を選んでクリックします。

「MENU1」ボタンを選んでクリックし、原因食物を選択すると、右欄に食物名が書き込まれます。

「MENU1」ボタンの隣の「書込ボタン 1」をクリックすると、右欄に「部位別の症状番号」が書き込まれます。

「MENU1」ボタンで右メッセージが現れます。





「MENU2」ボタンを選んでクリックし、２つ目の原因食物を選択し、原因食物を書き込みます。
「MENU2」ボタンをクリックすると、問診３の症状はリセットされますので、再度症状を選択します。
「MENU2」ボタンの隣の「書込ボタン２」をクリックして「部位別の症状番号」が書き込みます。
「MENU3」・「MENU4」ボタンは、「MENU2」ボタンと同様です。

MENU2・MENU3・MENU4は、クリックして別の原因を選ぶと、その都度上表のチェックがクリアされます。
各々の症状をチェックして、最後に書込ボタンをクリックしてください。

		食物名	部位別の症状番号
MENU1	書込ボタン	コムギ	(3-1A①A④A⑦C④)
MENU2	書込ボタン	ソバ	(3-1A⑦B⑨C⑤)
MENU3	書込ボタン		
MENU4	書込ボタン		

F. 問診４・５・６入力

問診４・５・６の食物名は、それぞれ「食物チェック表④」「食物チェック表⑤」「食物チェック表⑥」ボタンをクリックします。

問診4　問1の症状が出て、現在除去中の食べ物がありますか？　あればその名前は？　食物チェック表④へ

問診5　食物負荷試験で陽性といわれ、現在除去中の食べ物がありますか？　あればその名前は？　食物チェック表⑤へ

問診6　血液検査等で検査陽性といわれ、現在除去中の食べ物がありますか？　あればその名前は？　食物チェック表⑥へ

1)「食物チェック表④」から食物名を選んで、右上の「問診票に書込」ボタンをクリックします。

問診4　アレルギー症状が出て、現在除去中の食べ物にチェックを付けてください。　問診票に書込

食物チェック表

- 鶏卵
- 牛乳・乳製品
- 小麦
- ソバ
- ピーナッツ

甲殻類（エビ・カニ）

- エビ
- カニ

穀類

- アワ（粟）
- オオムギ
- キビ（黍）
- トウモロコシ
- ヒエ（稗）
- 米

果物類

- アボカド
- アンズ
- イチゴ
- ウメ
- オレンジ
- カキ
- カンタローブ
- キウイ
- グレープフルーツ
- サクランボ
- スモモ
- ナシ
- バナナ
- ビワ
- ブドウ
- マンゴー
- ミカン
- メロン
- モモ
- リンゴ

種実類・木の実類

- アーモンド
- カカオ
- クリ（栗）
- クルミ
- ココナッツ
- カシューナッツ
- ブラジルナッツ
- ヘーゼルナッツ

肉類

- 牛肉
- 豚肉
- 鶏肉

調味料・他

- カラシ
- ゴマ
- ゼラチン
- ニンニク

魚貝類

- アサリ
- アジ
- アワビ
- イカ
- イクラ
- イワシ
- カキ
- サケ
- サバ
- タコ
- タラ
- タラコ
- ホタテ
- マグロ

野菜類

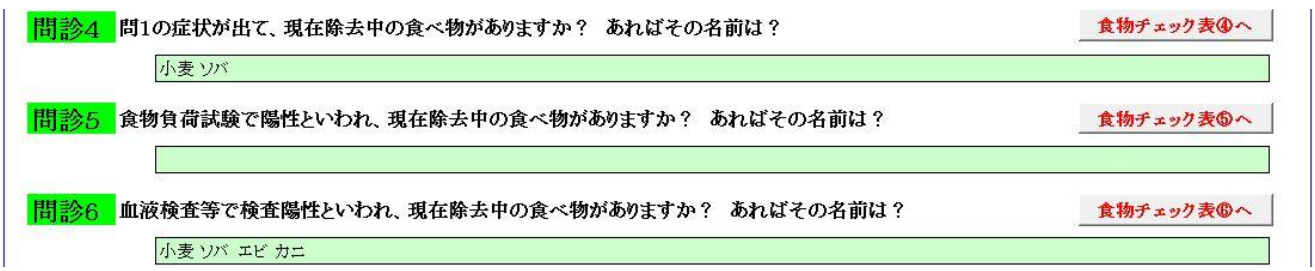
- インゲン
- エンドウ
- カボチャ
- キュウリ
- サツマイモ
- ジャガイモ
- スイカ
- ズッキーニ
- セロリ
- ダイズ（大豆）
- タケノコ
- タマネギ
- トマト
- ナス
- ニンジン
- パセリ
- ファンネル
- ホウレンソウ
- ヤマイモ
- ワサビ

その他

2)「食物チェック表⑤」から食物名を選んで、右上の「問診票に書込」ボタンをクリックします。

3)「食物チェック表⑥」から食物名を選んで、右上の「問診票に書込」ボタンをクリックします。

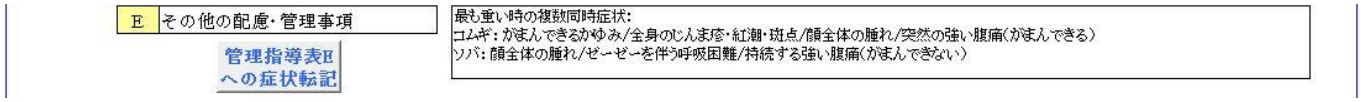
「問診票に書込」ボタンをクリックすると、それぞれの食物名が書き込みされます。



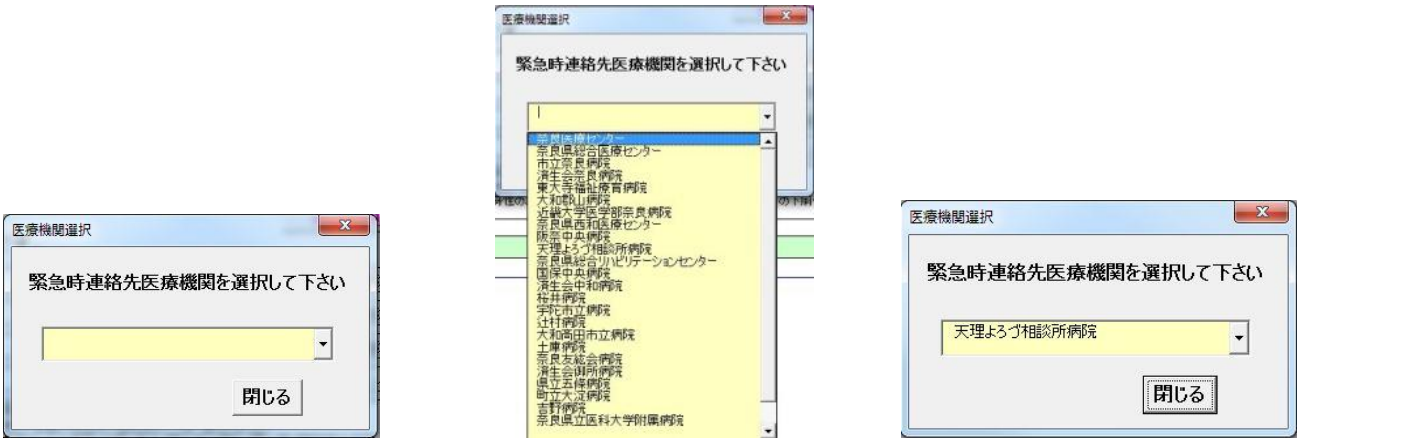
G. 医師判断・記入事項の入力

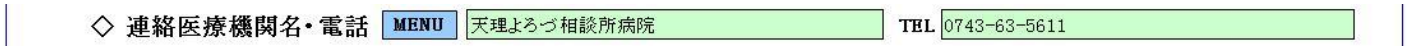
以下の表を A6 サイズ以下の紙に印刷して、医師が手書きでチェック、看護師らに入力依頼します。

1）管理指導表 E は、「管理指導表 E への症状転記」ボタンをクリックすると、問診３-◇の症状が、入力されます。



2）連絡医療機関名・電話の「MENU」ボタンをクリックして、病院名を選択します。



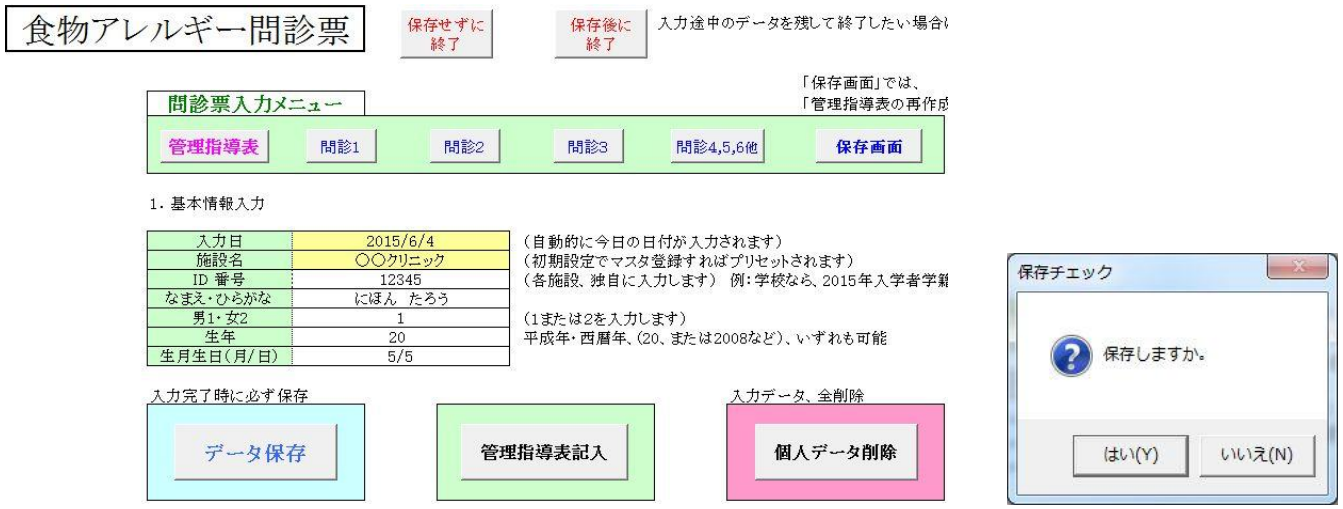


H. データ保存

問診票入力メニューから「初画面」を選んでクリックし、初画面に戻ります。

「データ保存」ボタンをクリック、「保存チェック」メッセージから「はい」を選択します。

「管理指導表記入」ボタンをクリックすると、管理指導表にデータが記入されます。



I. 管理指導表への書込

「管理指導表」には、以下のようにデータが記入されています。

なまえ　にほん　たろう

名前（　　男・女　平成　年　月　日生（　歳）（

病型・治療			
A 食物アレルギー病型（食物アレルギーありの場合のみ記載）			
① 即時型			
2 口腔アレルギー症候群			
3 食物依存性運動誘発アナフィラキシー			
B アナフィラキシー病型（アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載）			
① 食物　（原因：コムギ,ソバ）			
2 食物依存性運動誘発アナフィラキシー（原因：）			
3 運動誘発アナフィラキシー			
4 昆虫			
5 医薬品			
6 その他（）			
C 原因食物・診断根拠	該当する食品の番号に○をし、かつ《 》内に診断根拠を記載		
1 鶏卵	《 》		
2 牛乳・乳製品	《 》		
③ 小麦	《 ①③ 》		
④ ソバ	《 ①③ 》		
5 ピーナッツ	《 》		
6 種実類・木の実類	《 》	（）	
⑦ 甲殻類（エビ・カニ）	《 ③ 》		
8 果物類	《 》	（）	
9 魚類	《 》	（）	
10 肉類	《 》	（）	
⑪ その他1（野菜類）	《 ③ 》	（ゴマ）	
12 その他2（穀類・その他）	《 》	（）	

［診断根拠］該当するもの全てを《 》内に記載
① 明らかな症状の既往
② 食物負荷試験陽性
③ IgE抗体等検査結果陽性

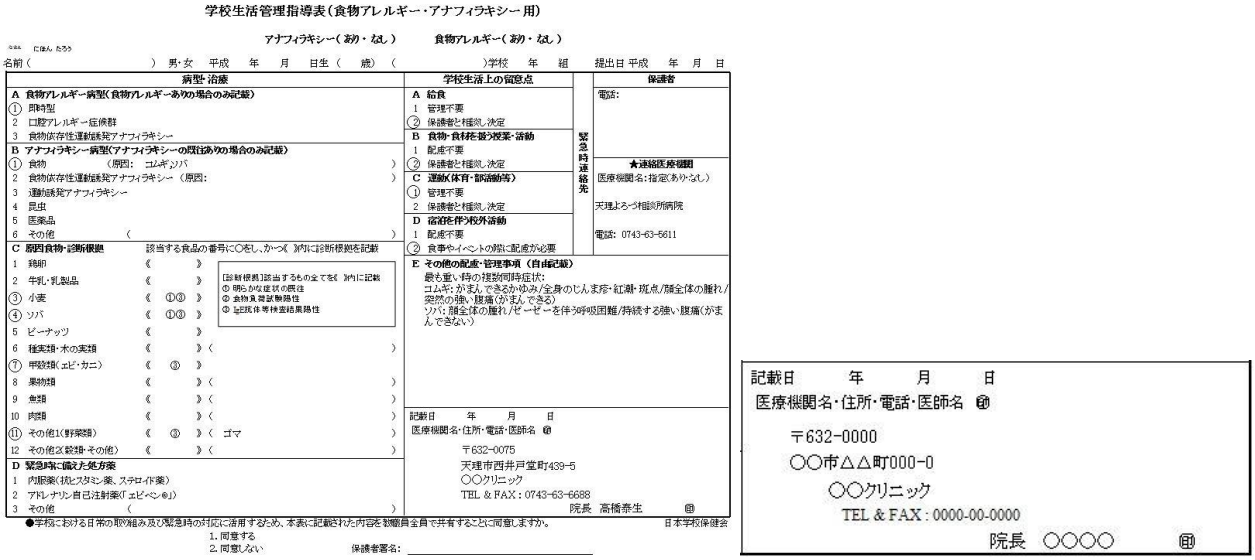
学校生活上の留意点	緊急時連絡先	保護者
A 給食 1 管理不要 ② 保護者と相談し決定 **B 食物・食材を扱う授業・活動** 1 配慮不要 ② 保護者と相談し決定 **C 運動(体育・部活動等)** ① 管理不要 2 保護者と相談し決定 **D 宿泊を伴う校外活動** 1 配慮不要 ② 食事やイベントの際に配慮が必要		電話: **★連絡医療機関** 医療機関名:指定(あり・なし) 天理よろづ相談所病院 電話: 0743-63-5611

E その他の配慮・管理事項（自由記載）

最も重い時の複数同時症状:
コムギ:がまんできるかゆみ/全身のじんま疹・紅潮・斑点/顔全体の腫れ/突然の強い腹痛(がまんできる)
ソバ:顔全体の腫れ/ゼーゼーを伴う呼吸困難/持続する強い腹痛(がまんできない)

J. 「管理指導表」印刷

エクセル「印刷プレビュー」を選択し、確認の上印刷します。



学校生活管理指導表(食物アレルギー・アナフィラキシー用)

アナフィラキシー(あり・なし)　食物アレルギー(あり・なし)

名前(　　) 男・女 平成　年　月　日生(　歳)(　　)学校　年　組　提出日 平成　年　月　日

病型・治療	学校生活上の留意点	保護者
A 食物アレルギー病型(食物アレルギーありの場合のみ記載) ① 即時型 2 口腔アレルギー症候群 3 食物依存性運動誘発アナフィラキシー B アナフィラキシー病型(アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載) ① 食物　(原因:　コムギ,ソバ　) 2 食物依存性運動誘発アナフィラキシー (原因:　) 3 運動誘発アナフィラキシー 4 昆虫 5 医薬品 6 その他　(　)	A 給食 1 管理不要 ② 保護者と相談し決定 B 食物・食材を扱う授業・活動 1 配慮不要 ② 保護者と相談し決定 C 運動(体育・部活動等) ① 管理不要 2 保護者と相談し決定 D 宿泊を伴う校外活動 1 配慮不要 ② 食事やイベントの際に配慮が必要 E その他の配慮・管理事項(自由記載) 最も重い時の複数同時症状: コムギ:がまんできるかゆみ/全身のじんま疹・紅潮・斑点/顔全体の腫れ/突然の強い腹痛(がまんできる) ソバ:顔全体の腫れ/ゼーゼーを伴う呼吸困難/持続する強い腹痛(がまんできない)	電話: ★連絡医療機関 医療機関名:指定(あり・なし) 天理よろづ相談所病院 電話: 0743-63-5611

緊急時連絡先

C 原因食物・診断根拠　該当する食品の番号に○をし、かつ( )内に診断根拠を記載

1 鶏卵	《　　》		
2 牛乳・乳製品	《　　》		
③ 小麦	《 ①③ 》		
④ ソバ	《 ①③ 》		
5 ピーナッツ	《　　》		
6 種実類・木の実類	《　　》	《　　》	
⑦ 甲殻類(エビ・カニ)	《　③　》		
8 果物類	《　　》	《　　》	
9 魚類	《　　》	《　　》	
10 肉類	《　　》	《　　》	
⑪ その他1(野菜類)	《　③　》	《 ゴマ 》	
12 その他2(穀類・その他)	《　　》	《　　》	

[診断根拠]該当するもの全てを( )内に記載
① 明らかな症状の既往
② 食物負荷試験陽性
③ IgE抗体等検査結果陽性

D 緊急時に備えた処方薬
1 内服薬(抗ヒスタミン薬、ステロイド薬)
2 アドレナリン自己注射薬(エピペン®)
3 その他　(　)

記載日　年　月　日
医療機関名・住所・電話・医師名 ㊞
〒632-0075
天理市西井戸堂町439-5
○○クリニック
TEL & FAX : 0743-63-6688
院長 高橋泰生 ㊞

●学校における日常の取組み及び緊急時の対応に活用するため、本表に記載された内容を関係者全員で共有することに同意しますか。
1. 同意する
2. 同意しない
保護者署名: _____
日本学校保健会

記載日　年　月　日
医療機関名・住所・電話・医師名 ㊞
〒632-0000
○○市△△町000-0
○○クリニック
TEL & FAX : 0000-00-0000
院長 ○○○○ ㊞

右下枠医療機関・医師名などは、院長を追加するなど、適宜変更が可能です

K. 新規患者の入力

「初画面」に戻り、「個人データ削除」ボタンをクリックして、新たにデータ入力を始めます。

L. 終了操作

終了には、２つの終了ボタンがあります。

1)「保存せずに終了」ボタンをクリックした場合、一度「データ保存」ボタンをクリックしたデータは保存されています。入力途中のデータは保存されず、再起動時、新規患者入力の状態で起動されます。

2)「保存後に終了」ボタンをクリックした場合、一度「データ保存」ボタンをクリックしたデータは保存されています。再起動時、入力途中のままの状態で起動されます。

M. 保存データの活用

問診票入力メニューから「保存画面」ボタンを選んでクリックすると、以下の画面が現れます。

直前に入力されたデータが、保存されていることを確認します。

食物アレルギー問診データ保存レコード　　初画面

1. 処理対象レコード番号をセットし処理ボタンをクリックして下さい。

処理対象レコード番号　1　（プルダウンでセット）　管理指導表の個別作成　選択レコードの削除ボタン　外部報告データ作成

個人情報は抽出されません

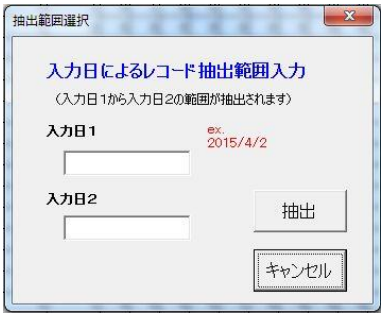
保存レコード数　6

レコード番号										問診１	皮膚・粘膜									
	入力日	施設名	ID 番号	なまえ・ひらがな	生年	生月	生日	年齢	男1・女2	あり1・	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	2015/3/1	○○クリニック	1500	やまだ　たろう	1995	5	23	19	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
2	2015/3/1	○○クリニック	240	てんり　いちろう	2004	4	3	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3	2015/4/4	○○クリニック	1900	ながら　にし	2005	4	4	11	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
4	2015/4/5	○○クリニック	2100	ながら　ひがし	2003	8	15	11	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
5	2015/4/5	○○クリニック	2500	あい　うえお	2004	1	1	7	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
6	2015/4/9	○○クリニック	3000	なら　たろう	2008	5	5	6	1	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	

1)「管理指導表の個別作成」ボタンは、処理対象レコード番号を入力すれば、いつでも対象患者の管理指導表を作成できます。

2)「選択レコードの削除ボタン」は、処理対象レコード番号を入力すれば、対象患者が削除できます。

3)「外部報告データ作成」ボタンをクリックすると、以下の画面が現れます。



入力日１と入力日２を書き込めば、個人情報が削除された状態で、CSV ファイルが作られます。

削除される個人情報は、患者 ID、なまえ、生年月日です。

注）年齢は、小中学校の場合、日本の法律では４月２日～翌年４月１日生まれの人は同じ学年になることから 4/2 を基準値に、同学年は同年になるように設定しています。

N. その他の機能

1)「クリアボタン」

各問診毎、各ワークシート毎に削除できるように設定しています。

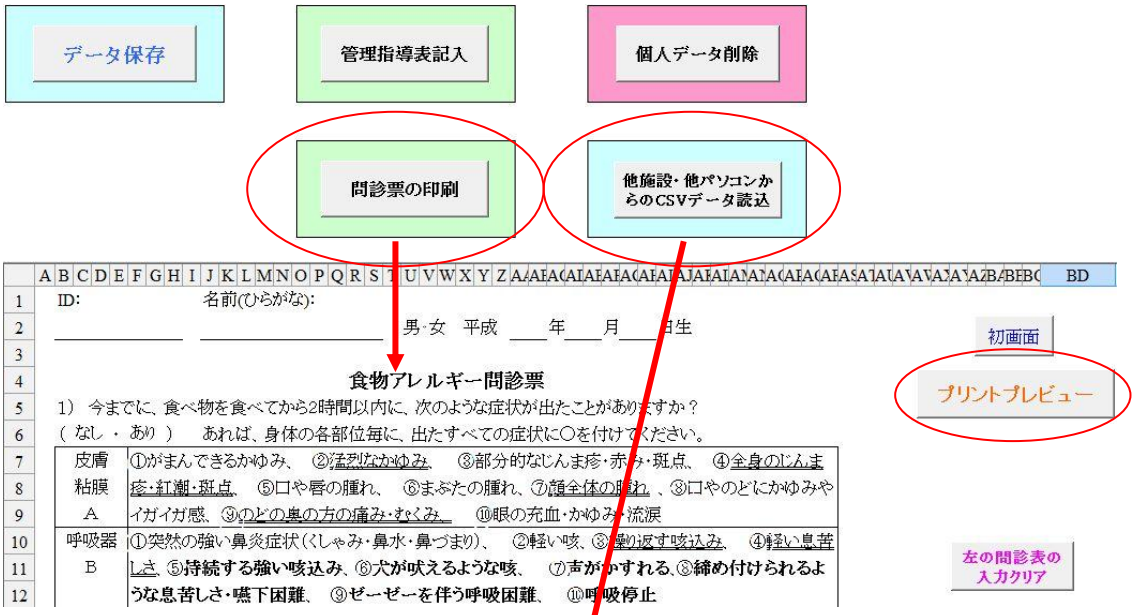
なお、初画面の「個人データ削除」ボタンは、上記のすべての入力・チェッククリアを行います。

2)問診票の印刷(入力もれの確認に応用できる)

初画面にある「問診票の印刷」ボタンをクリックすると、問診票の画面に移動します。

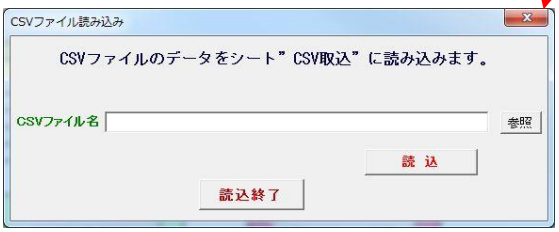
家族が記入した問診票と一致するかどうかを見れば、入力もれの確認ができます。

「プリントプレビュー」ボタンをクリックして、印刷できます。



3)他施設・他パソコンからの CSV データ読込

初画面にある「他施設・他パソコンからの CSV データ読込」ボタンを使えば、「M:保存データの活用」で作成された CSV ファイルを読み込むことができます。



4)ワークシート見出しを表示すれば、G で説明した医療機関名を整理できます

(Microsoft Office ボタン)→[Excel のオプション]→[詳細設定]→[次のブックで作業するときの表示設定]で、[シート見出しを表示する] をオンにして、[OK] をクリックします。医療機関名を整理します。

平成 27 年 6 月 14 日作成

(文責：高橋泰生)